

研究主題 人とのかかわりを大切にし、生き生きと活動できる児童の育成

1 研究主題設定の理由（児童の実態から）

本校2学年は、男子4名、女子6名の少人数学級である。入学当初は、登校することに消極的な児童や欠席が続く児童が数名いた。昨年1年生では「なかよし学級にしよう」という学級目標を、2年生では「みんなで助け合うなかよし学級にしよう」という学級目標を掲げ、日々努力しているところである。しかし、まだ人とかかわることが苦手だったり、かかわり方がわからなかったりして、トラブルになることもある。

そこで、①人とのかかわりを大切にしながら、人間関係を構築する基礎を身につけさせたい、②児童が人とかかわることによって、今まで気付かなかった人とかかわるよさや楽しさを体験し、人々とより適切な交流を望むようになってほしいという2点を願い、本主題を設定した。

2 研究の仮説

○様々な人と交流する場を設定すれば、人とのかかわりを大切にし、たくさんの人と交流しようという気持ちが育つであろう。

○適切なかかわり方を支援、指導することで、自己有用感をもち、積極的なかかわりをすることができよう。

3 研究の内容

(1) アンケートによる生活科学習に対する実態調査を行い、変容をとらえる。

(2) 「人とのかかわり」を通した授業実践により、仮説を検証する。

ア 様々な立場の人々とかかわる場を設定することで、そのよさを体験し、つながりを大切にしていく。

(ア) 地域の方との交流 (イ) 新1年生との交流

(ウ) 1年生どうしでの交流 (エ) 神南小学校2年生との交流(学校統合をみすえた交流)

4 結論

○様々な立場の人と交流する場を設定したことで、交流する楽しさを感じることができた児童が増えた。また、一部の児童の自己有用感を高めることができた。

○「人とかかわる」という視点の中に、「家族」、「友達（異学年、他校も含める）」、「学校の先生方」の3者以外に「地域の人」も子ども達の視点の中に入ることになった。地域の方々とのつながりはこれからも大切にしていきたい。

△統合に向けて、神南小学校との交流授業を今後も続けていきたい。年間指導計画の中に入れ、統合後よりよい学級集団になるようにしていきたい。

1 研究主題

人とのかかわりを大切にし、生き生きと活動できる児童の育成

2 研究主題設定の理由

(1) 今日の課題から

平成20年に改訂された学習指導要領では、内容(8)「生活や出来事の交流」が新設された。内容(8)は、人とかかわる中で「伝え合うこと」に重きを置いている。同年、1月の中央教育審議会答申の中にあげられた、「言語活動の充実」から新設されたと考えられるが、平成10年の改訂時に、今までの教科目標の社会とのかかわりから「人」を独立させ、「人とかかわり」を教科目標に加えており、生活科発足当時から「人とかかわり」を重要視していた教科だと言える。

現代社会では、核家族化、少子化の進行など社会構造の変化により、子どもたちは人と接する機会が少なくなった。実際、本校においても、自分中心に考えてしまう児童や他の人と適切に接することのできない児童も少なくない。その原因として、家族とかかわる時間が短いこと、既製のおもちゃやゲームの普及により一人でも楽しく遊べるようになったことなどが考えられる。

(2) 児童の実態から

本校は、「学級活動を通して、学級集団を育てる」を主題に話し合い活動の研究を進めて3年目になる。この研究を始めた理由としては、本校児童のコミュニケーション能力が全体的に低いこと、場に応じた対応ができないこと、また、自分の感情を相手にうまく伝えられず、相手の気持ちを考えられない児童が多いことがあげられる。また、校内で実施した児童の実態をとらえるためのアンケートでは、自己有用感が全体的に低いという結果がでた。

本学級は、男子4名、女子6名の少人数の学級である。入学当初は、登校することに消極的な児童や欠席が続く児童が数名いた。昨年の9月に、「なかよし学級にしよう」という学級目標を、2年生では「みんなで助け合うなかよし学級にしよう」という学級目標を掲げ、目標に近づくように日々努力しているところである。しかし、まだ人とかかわることがうまくできずにトラブルになることもある。

そこで、①人とかかわりを大切にしながら、人間関係を構築する基礎を身につけさせたい、②児童が人とかかわることによって、地域の方や他校の児童などとかかわるよさや楽しさを体験し、幅広い人たちとの交流を望むようになってほしいという2点を願い、本主題を設定した。

3 研究の目標

一人ひとりの児童が、人とかかわることを喜び、かかわりを深めるようになるには、どのような支援や指導が効果的かを明らかにする。

4 研究の仮説

○様々な人と交流する場を設定すれば、楽しく人とかかわり、人とかかわることを学び、よい交流をしようという気持ちが育つであろう。

○人とかかわり方を指導、支援することで、自己有用感が育ち、積極的なかかわりをすることができるであろう。

5 研究の内容

(1) 生活科学学習に対する実態調査をとり、児童の変容をとらえる。

(2) 「人とかかわり」を通した授業実践により、仮説を検証する。

ア 様々な立場の人々とかかわる場を設定し、そのよさを体験し、つながりを大切にしている。

(ア) 地域の方との交流

(イ) 新入生との交流（入前児との交流）

(ウ) 1年生どうしの交流（学級内の交流）

(エ) 神南小学校2年生との交流（学校統合を見据えた交流）

(ア) から (ウ) までは、1年時の活動、(エ) は、2年時の活動。

6 研究の実際

(1) 授業実践1「団子ならしを体験しよう」

地域の方との交流

ア 単元の目標

○自分たちが住む地域に残る伝統行事「団子ならし」を地域の方に教えてもらい、伝統行事の理解を深めたり、地域の方とのつながりを大切にしたりしようとする。

(関心・意欲・態度)

○地域に残る伝統行事について知り、地域の伝統行事について気付いたことや考えたことなどを伝えたりすることができる。

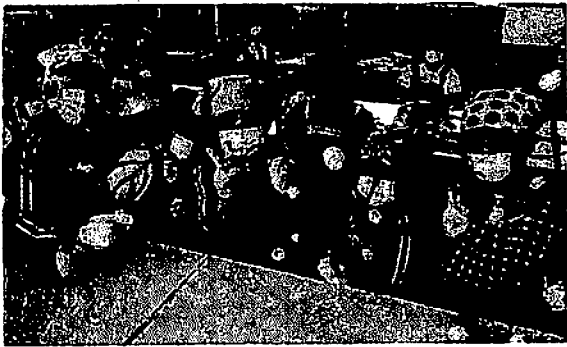
(思考・表現)

○友だちや地域の方とかかわり、伝え合う活動を通して地域のよさに気付くことができる。

(気付き)

イ 活動の実際（実践時期：平成29年1月12～18日）

時	主な学習活動と内容 ◆児童の様子	○支援 ●評価
1	1 「団子ならし」と聞いて想像できること、知っていることを伝え合う。また、「いつ、どんなときに、だれが行うものなのか」を考える。 ◆「団子ならし」？なんだろう。 2 出た意見をまとめる。グループごとに想像した「団子ならし」を発表する。 ◆グループで意見を出し合う活動をしたことで、学級の友達とかかわりをもって取り組めた。 3 教師が「団子ならし」の由来、どんなときに行ってきたのかを説明する。 4 次回の学習で地域の方から「団子ならし」を教えてもらい、実際に作ることを伝える。	○自分たちが「団子ならし」と聞いて想像できることや知っていることを付箋に書き、グループごとにまとめるようにした。 みんなで団子を食べる行事かな？ 団子を楽器にするのかな？  ○「団子ならし」の写真を提示し、「そうなんだ」「知らなかった」という新たな気付き、「やってみたい」という興味関心をもたせるようにした。 ●「団子ならし」を知り、次の活動へ意欲を示している。(関心・意欲・態度)

2	1 教えてくださる地域の方を紹介し、あいさつをする。 ○おもちをつき、まるめる。  ○まるめたおもちを枝にさす。 2 地域の方から昔の「団子ならし」の様子やその思い出を聞く。 ◆昔は、大きな木に団子をさしていたなんてびっくり。どうして今はやってないのかな。 ◆来年は、もっと大きな木でやってみたい。	○事前に「仲良く、協力して作ろう」というめあてを決め、達成できるように声をかけた。 ●友だちと協力したり、譲り合ったりして「団子ならし」を行うことができる。 (関心・意欲・態度)  ●地域の方の話を真剣に聞こうとしている。 (関心・意欲・態度) ●昔の話から考えたり、思ったりしたことを発表することができる。 (思考・表現)
1	1 地域の方に手紙を書く。 ・おもちを丸める作業が楽しかったです。 ・家に持ち帰って、お母さんに「団子ならし」を教えてあげました。 ・昔は、大きな木に団子をさしていたなんて知りませんでした。とてもびっくりしました。 ・また来年も教えにきてください。教えてくれてありがとうございます。ありがとうございました。 2 地域の方へ手紙を届ける。 ◆地域の方へ手紙を渡すときも丁寧な言葉遣いで渡せた。	○気持ちをこめて感謝の手紙を書くようにした。 地域の方より ・わざわざ手紙を届けてくれてありがとう。以前は、学校へ行く機会も多かったけど、最近は、なかなか学校へ行く機会がなかったから、声をかけてくれて嬉しかったよ。 ↓ ・がんばって書いたから、よろこんでくれた。また手紙を書きたいな。 ・また違う行事でも地域の方のきてもらいたいな。 ●感謝の気持ちをこめて手紙を書いて、渡することができる。 (思考・表現) ○安全に気をつけて歩くように声をかけた。

ウ 成果と課題

○子どもたちが地域の方にお礼の手紙を書き、届けたことで、かかわりがさらに深まった。地域の方の感想を直接聞いて、「自分たちが書いた手紙でこんなにも喜んでくれるんだ。」ということを実感することができた。

○地域の方に教えてもらうことは、子どもたちの心に大きく残ることがわかった。

△地域の方との交流を一度で終わらせずに、次に交流する場を設定することで、さらに大人とのかかわり方が身に付けることができると考える。生活科の学習や学校行事に招待する機会をつくりたい。

(2) 授業実践2 「もうすぐ2年生」

新入生との交流

ア 単元の目標

○自分の1年間を振り返り、楽しかったことやできるようになったことを発表し合う。

(関心・意欲・態度)

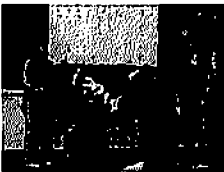
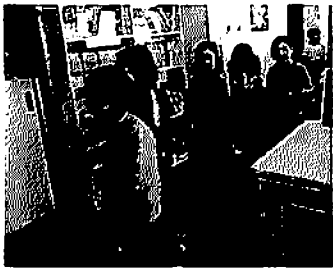
○保育園児のために、自分たちがやってあげたいことを話し合い、プレゼントなどの準備や教室をきれいにしたりして、新入生を迎える準備をする。

(思考・表現)

○自分の成長にかかわった人たちに気付き、感謝の気持ちをもつ。

(気付き)

イ ①活動の実際 (実践時期：平成29年1月26日～2月4日)

次	時	主な学習活動と内容 ◆児童の様子	○支援 ●評価
1	1	1 自分たちが入学したことのことを振り返り、困ったことや嬉しかったことを思い出して、保育園児にしてあげることを考える。 ◆2年生が学校案内をしてくれたよ。 ◆小学校にどんな先生がいるのかドキドキしたな。 ◆小学校へ入学するのが楽しみだった。 ◆今年はぼくたちが新入生を楽しませてあげたい。	○昨年度の写真を見せ、どんな気持ちだったのか振り返るようにした。 ○新入生に何かしてあげたいという気持ちをもたせ、新1年生を迎える喜びを大きくふくらませるようにした。 ●期待をもって新入生を迎えようとしている。(関心・意欲・態度) 【資料編1参照】
	2	1 保育園児を迎えに行き、1年生教室へ案内する。  初めまして。○○です。よろしくね。 ◆1年生教室に案内し、自分が担当をする保育園児に自己紹介や握手、名札を渡した。1年生のほう緊張していた。 2 絵本の読み聞かせや輪投げゲーム、学校案内をする。 ◆輪投げゲームでは、新入生がうまく入ると拍手を送ったり、「○○ちゃん上手だね」と声をかけたりすることができた。 ◆教室を案内するだけでなく、自分が知っている特別教室の情報を伝えながら、学校案内することができた。	○自分から話しかけたり、仲良くなったりできるように、めあてを事前に決め達成できるした。 ●新入生のために、学校案内をしたり、進んで仲良くなろうとしたりしている。(関心・意欲・態度) ○声をかけられず戸惑っている児童には、一緒に話しかけたり、笑顔で話しかけると気持ちが伝わったりすることを確認した。   

1	1 振り返りをする。 ○自分が担当した係りの仕事と当日はどうだったかを振り返るようにする。 2 振り返りを発表しあう。 【資料2 参照】	○自分のがんばりや友だちのよさに気付けるような視点を与え、振り返りを行った。 ○4月の「1年生を迎える会」につなげるようにした。 ●自分や友だちのがんばりに気付いたり、認めたりすることができる。 (気付き)
---	---	--

②授業実践3 (平成29年2月7日～22日)

2年生の仲間との交流

2	1 1 この1年間であったこと、心に残っていることを振り返る。行事や活動の写真、作品を手がかりに1年間を振り返り、発表しあう。 ◆運動会のリレーをがんばったよ。 ◆水泳学習が楽しかったよ。 ◆落ち葉や木の実で遊んだよ。 1年間を振り返り、楽しかったことやできるようになったことを伝え合おう。 2 1年間を振り返り、学習面、生活面に分けて、カードを書く。 ◆漢字で名前が書けるようになった。 ◆長縄が跳べるようになった。 ◆逆上がりができるようになった。 ◆返事やあいさつができるようになった。 ◆友だちにやさしい言葉をかけられるようになった。 3 できるようになったことを付箋紙に書く。 4 学習面でできるようになったことを書いた付箋紙を持ち寄り、仲間わけをする。 【資料編3 参照】	○1年生の作品を示し、そのころとどのようなことが変わってきたのか具体的に思い出せるようにする。 ○新1年生が入学してきて、自分たちが上級生になるという意識をもてるようにする。 ○作品や行事の写真などをもとに、自分ができるようになったことを具体 ・学習面→ピンクの付箋紙 ・生活面→緑色の付箋紙 ○できるようになったことだけでなく、がんばったことも含めて書くように声をかけた。 ○自分の成長だけでなく、友だちの成長も認められるようにする。 ●自分自身を振り返り、過去と現在の自分を比較している。(思考・表現) ●1年間でできるようになったことが増え、成長した自分に気付いている。 (気付き)
---	--	--

1	1 グループごとに生活面でできるようになったことの仲間わけをする。 ◆あいさつができるようになったことは、ここへ集めよう。 ◆「けんかをしなくなった。」ってぼくも書いたよ。【資料編4参照】  見やすいように同じものを線で囲むのどうかな? 3 できるようになったことがたくさんあることを確認し、みんなの成長にはどんな人がかかわっているか考える。 ◆学校の先生方 ◆家族 ◆団子ならしを教えてくれた地域の方	○最後にグループごとの発表をすることを伝え、時間を決め、グループの友達と協力して仕上げるように声をかけた。 ○ものさしやカラーペンを置いておき、自由に使ってよいことを伝えた。 ●グループの友だちと協力して、活動を進めることができる。 (関心・意欲・態度) ○発表は、グループごとにどんな意見が出て、どのようなまとめ方をしたのか話すようにした。 ●自分の成長に多くの人がかかわっていることに気付くことができる。 (気付き)
1	1 お世話になった方へ何かできないか考える。 ◆「ありがとうの会」を行う。 ◆何かプレゼントを作る。 ◆手紙を書く。 2 お世話になった方に手紙を書き、手紙を渡す。【資料編5参照】	○集会を行ったり、プレゼントを作ったりするのは、次の機会とし、今回は感謝の手紙を書くことにした。 ●自分の成長にかかわった方に感謝の気持ちで手紙を書くことができる。 (思考・表現)

ウ 成果と課題

- グループ活動が成り立つようになった。また、グループで話し合っ、意見をまとめ、付箋紙の貼り方も工夫できるようになってきた。
- 自分の成長したこと、できるようになったことを振り返ることができた。さらに、できるようになりたいこと、がんばりたいことを明確にもつことができた。
- △児童から「ありがとうの会」や「プレゼントを作る」という意見が出たが、時間がない関係で行うことができなかった。児童の意見を大切に、活動に取り組めるようにするとよいと考える。

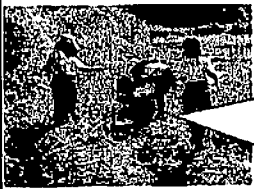
(4) 授業実践4 小单元 「春の町ではっけん」

神南小学校2年生との交流

ア 小单元の目標

- 春の自然や町の様子について、様々な人々とかかわりながら調べようとしている。
- (関心・意欲・態度)
- 春の町へ出て、人々にインタビューしたことや見つけたことを自分なりの方法を考えを表現している。
- (思考・表現)
- 身近な人々との上手な接し方に気付いている。
- (気付き)

イ 活動の実際（実践時期：平成29年5月8日～6月17日）

次	時	主な学習活動と内容 ◆児童の様子	●評価 ○支援
1	1	学校の外にも春がいっぱいありそうだね。みんなの通学路にはどんな春があるのかな。 1 通学路にはどんな春があるか紹介しあう。 ◆タンポポが咲いてたよ。 ◆ツバメが巣を作っていたよ。 ◆田植えをしている人がいたよ。 2 冬探しや秋探しにいった学校の裏山やその周辺など散歩に行く場所を確認する。	○冬とは違った町のなかの様子を話し合いながら、教科書との写真なども活用して、イメージ化を促すように支援した。 ○動植物だけではなく、働いている人々の様子など春探しの視点を事前に例示しておいた。 ●春探しに意欲をもち、調べに行くことを楽しみにしている。（関心・意欲・態度） めあて 学校のまわりの春のよう すをしらべよう。
	2	1 学校のまわりの春の様子を調べる。  おたまじやくしがかえるになってるよ！ 大きな竹の子があったよ！ 	○教科書P23「やくそくをたしかめよう」を参考に、散歩に行くときの約束を確認した。 ●春のまちの様子について安全に気をつけながら見つけようとしている。（関心・意欲・態度） ●自分の発見した春をカードに記入している。（思考・表現）
	1	1 各自が記入したカードについて紹介しあう。 2 友だちが書いたカードを見て、行ってみたい場所を考える。 ◆天宮神社へ行ってみたい。「神楽」をやってるってきいたことがあるよ。 ◆福大神へ行ってみたい。トトロに出てくるみたいな大きな木があるよ。	○においや春の日ざし、服装、田畑で農作業で働いている人々などへの気付きを取り上げ、もっと詳しく調べたいことを考えるようにした。 ●友だちが書いたカードから行きたい場所を考え、表現している。（思考・表現）
	1	1 前時に出された場所へ行く。 ◆さつまいもの苗植えをしてる。 ◆天宮神社はいつもきれいに掃除されている。	○2回目の探検で新しく気付いた児童のつぶやきをとりあげるようにした。

2	1	1 見つけたことやインタビューをして、わかったことをどんな方法でまとめるか、誰に発表したいか話し合う。 ◆発見したことをクイズにした。 ◆新聞にしたい。 ◆1年生に発表したい。 ◆5年生にも聞いてもらいたい。 ◆家族を招待したい。 2 今回は、神南小学校の2年生を招待して、みんなが見つけた学校周辺の春を紹介したいと考えてていることを伝える。 ◆やりたい！楽しみ！ ◆福田小学校がどんな学校で、どのような行事があるか紹介したい。 ◆地域の方も紹介したい。 以下の3つのグループに分かれ、発表すること、めあてを確認する。 ・学校の周辺の春を紹介する ・学校紹介 ・地域の方紹介	○子どもたちが書いたカードや付箋紙などを活用し、自分が伝えたい事柄をしぼって発表できるようにまとめるようにした。 ○ペープサートや紙芝居、4、5年生が作った壁新聞を参考に、まとめ方を考えるようにした。 ●春のまちで見つけたことを発表しようとしている。(関心・意欲・態度) ○発表する相手意識をもたせたことで、発表に対する意識を高めるようにした。 ○発表までの計画表を見えるように掲示し、計画的に活動できるようにした。 <i>学校がきょう は、はるでじんなんしょう学校の2年生をしょうたいするとはおもわなかった。は、はるするのがたのしみです。 福田の小学校の人も、しょうたいできて、うれい どおしらない人もいるけどなかなよくなりました いなと思いました。</i> めあて 神南小学校の2年生に福田地区のよさをつたえよう。 神南小学校の2年生となかよくなろう。
	3	1 グループごとに発表の準備、練習をする。  ◆最初は戸惑うグループもあったが、相談したり、仕事の役割分担をしたりして活動が成り立つようになってきた。 2 発表の練習をし、学級内でミニ発表会を行う。	○どうしたら福田地区のよさが神南小学校の2年生に伝わるかを考え、グループごとに活動のめあてをたてるようにした。また、困ったらすぐに教師を頼るのではなく、グループで相談したり、他のグループの意見を聞いたりして解決するように声をかけた。 ●グループで協力して、発表する新聞や紙芝居を作ることができる。(思考・表現) 



○聞き手も質問や感想が伝えられるように、聞く視点を伝えた。

○教科書を参考に、わかりやすく伝えることや聞くポイントを確認した。

●町探検で見つけたことや学校紹介、地域の方紹介など、まとめたことを工夫して伝えることができる。(思考・表現)

○ミニ発表会では、教頭先生を招待し、発表を見ていただいた。1年生の頃からかわりがある教頭先生や友だちからのアドバイスを受け、改善し、交流会の日を迎えた。

【神南小学校の2年生に招待状を書こう】

国語の単元「手紙を書こう」の学習として、神南小学校の2年生に招待状を書いた。

【交流会で行うレクを考えよう】

どんなレクをすれば、神南小学校の2年生となかよくなれるか学級活動の時間に話し合った。 【資料編6、7参照】

- 2 1 神南小学校との交流会を行う
◆初対面の児童、保育園が同じで久しぶりに会う児童など様々。お互い緊張している様子だった。レクを行ったことで、少し緊張がほぐれ、笑顔がみえた。



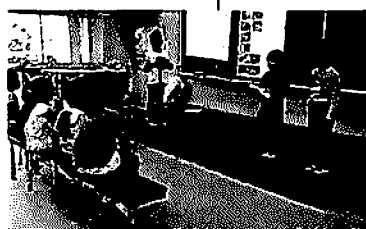
- 2 練習してきたことをそれぞれのグループごとに発表する。

○お互い名前呼び合えるように、名札を用意した。

○自己紹介をし、緊張をほぐすためにレク(貨物列車)を行った。



○発表は、一人ひとりの顔を見て発表できるように発表を3か所で行い、少人数で行った。発表を聞いたら、次の場所をローテーションするようにした。



	3 発表を聞いた後、神南小学校の2年生に感想を発表してもらう。	●練習してきたことを、聞いている人を意識して、はっきりと発表することができる。 (関心・意欲・態度)
	福田小学校児童の感想 ・3回発表するのは大変だったけれど、一生懸命きいてくれて嬉しかった。 ・福田小のことを知ってもらえて嬉しかった。神南小学校のみんなが発表をしっかり顔を見て聞いてくれたら、練習してよかったです。	神南小学校2年生の感想 ・学校でさつまいもの「収穫を祝う会」やっていることを知りました。楽しそうな行事だと思いました。 ・みなさんが探検に行っている「学校の裏山」に私も行ってみたいです。 ・神楽をやってるなんてすごいと思いました。本物を見てみたいです。
	4 体育館へ移動して、レク集会を行う。 ・王様じゃんけん ・神南、福田混合のドッジボール	
	5 握手をし、再会を楽しみにお別れをする。 	○レク集会でのめあてを事前に決め、自分から話しかけたり、仲良くなったりできるように声をかけた。 ●自分から進んで交流し、楽しもうとしている。 (関心・意欲・態度) ●福田、神南小学校の友だちのよさに気付くことができる。 (気付き)
1	1 がんばったこと、心に残ったことなど交流会の準備、計画の振り返りをし、発表しあう。 【資料編8参照】 2 神南小学校2年生からの手紙を渡す。	○交流会を振り返り、自分や友だちのがんばり、よさに気付けるように声をかけた。 ●自分や友だちのがんばり、よさに気付いたり、認めたりすることができる。 (気付き)

ウ 成果と課題

- 発表は、音楽室、理科室、2年生教室と3つにわけ、少人数で聞いてもらった。発表する側は、3回行うのが大変だったが、目を見て話したり、近くで発表を聞いてもらえたりしたので、自分たちの思いが伝わったと感じている。
- 神南小学校の2年生の感想発表で「福田小学校の収穫を祝う会のことがわかった。」「みんなが探検に行く学校の裏山に行ってみたい。」という感想を聞けて、自分たちの気持ちや発表のことが伝わったと実感した。
- 発表会の後に、体育館で神南小学校、福田小学校の混合チームでドッジボールを行った。混合チームにしたので、かわりが多くなり、盛り上がりが見られた。
- 最後の握手では、「今日は来てくれてありがとう。」や「また会おうね。」とお互いに会話をしながら握手することができた。
- △紙芝居、ペープサートなど色々な発表のしかたを選べるように、提示できるものを作っておくべきだった。各グループとも新聞でまとめることになったので、活動を広めることができなかった。

第67次千葉県教育研究集会
第22分科会 生活科教育

資料編

香取市立福田小学校
伊能 由実子

資料 1 議題 「新入生ようこそ会」で何をするか決めよう 話し合いの流れ（学級活動）
 めあて：新入生が楽しめる内容を考えよう。（実施日：平成 29 年 1 月 19 日）

話し合いの順序	指導上の留意点 ◆児童の様子や発言	評価方法
1 始めの言葉	◆歌やレクを行ったことで、表情がよくなり、楽しい雰囲気にする事ができた。	
2 レク（貨物列車） 歌（今月の歌）		
3 司会・黒板係の自己紹介	・自信をもって言えるように、事前に言うことを確認し、話し合い活動を進められるようにした。	
4 議題の確認		
5 提案理由やめあての確認	◆司会の進め方をマニュアル化し、話しやすいようにした。司会になったときに誰でも使えるようにしておくことで、安心して提案理由やめあてを話すことができた。	
6 決まっていることの確認	やる日 2月2日 時 間 2:00～3:00 場 所 1年生教室	
7 先生のお話	・自分達がどんな気持ちで小学校に来たのかを再度振り返った。	
8 話し合い	児童から出された意見 ◆学校案内 ◆ボウリング ◆本読み ◆輪投げ ◆ドロピー	【関心・意欲・態度】
①「新入生ようこそ会」で何をするか話し合う。	◆事前に学級会ノートに自分の意見を記入していたことで、理由をつけて発表できた。どの意見も新入生が楽しめるかを基準に考えられたものだった。	・友達の意見をしっかりと聞いたり、自分の意見に理由をつけたりして発表している。 <観察>
・学校案内	◆事前に短冊に書き、貼るだけにしておいたため、黒板係がスムーズに活動することができた。	【思考・判断・実践】
・ボウリング	◆よかった点や課題について自己評価した。また、友達のよかった意見やがんばっていた司会や黒板係にもお互い認め合えた。	・提案理由を踏まえ、考え、発言している。
・本読み		<観察・学級会ノート>
・ドロピー		【知識・理解】
・輪投げ		・話し合いの進め方や約束を理解している。
・プレゼント		<観察>
②必要な係や準備を出し合う。		
・プログラム係		
・司会 ・名札		
・お手紙		
9 決まったことの発表		
10 話し合いの振り返り		
11 先生のお話		
12 終わりの言葉		

話し合いで、「新入生ようこそ会」で行うものは以下の4つに決定した。

- ①大型絵本の読み聞かせ ②輪投げ ③学校案内 ④手紙とプレゼント

また必要な係も話し合い、以下のものを役割分担し、準備をすることにした。

- ①プログラム ②名札 ③「新入生ようこそ」の看板
④輪投げの準備、ルールを考える。 ⑤絵本の読み聞かせの練習

資料2 児童の振り返り

A児

かかりのしことについて	本はんはどうだったかな?
わたしは、わなげ学校あんないでは かかりでした。わな [] ちゃんにや げのペットボトルさしくおしえら をつけるさぎょうをしました。 かかたのしかたで、わたしはかづつ す。	わたしは、わなげ学校あんないでは かかりでした。わな [] ちゃんにや げのペットボトルさしくおしえら をつけるさぎょうをしました。 かかたのしかたで、わたしはかづつ す。

B児

かかりのしことについて	本はんはどうだったかな?
プレゼントづくりで ペーパークラフトをぬり のりかたのしかたで す。よろこんでくれ るかなとおもいな がらつくりました。 わたしがお休み しているあいだに んがわなげのじゅんぴ をしてくれました。一 でつくってさぎょう をしました。	わたしは、わなげ学校あんないでは かかりでした。わな [] ちゃんにや げのペットボトルさしくおしえら をつけるさぎょうをしました。 かかたのしかたで、わたしはかづつ す。

C児

かかりのしことについて	本はんはどうだったかな?
ぼくは、名ふたがぼくはまの目から かりで名ふたをつくりきりして、5じ45分 した。 [] くんにおきてしまいました。 となかよくかきまけ。本はんはちゃんとい きれいな字でえぬきまけ。きんちやう てかけました。名ふてました。うまくて たづくりかたのしかたで、名ふたがな たです。	わたしは、わなげ学校あんないでは かかりでした。わな [] ちゃんにや げのペットボトルさしくおしえら をつけるさぎょうをしました。 かかたのしかたで、わたしはかづつ す。

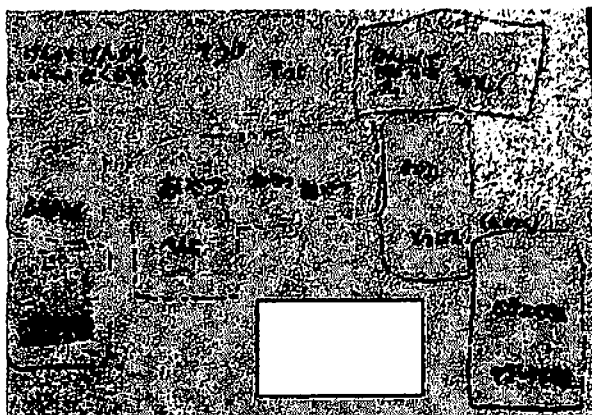
A、B、C児とも「新1年生が喜んでくれた、楽しんでくれたからよかった。」という感想をもつことができた。また、B児はA児のがんばりに気付き、認めることができた。また、C児は友だちと協力する楽しさを感じられたようだった。

資料3 学習面でできるようになったものをまとめたもの

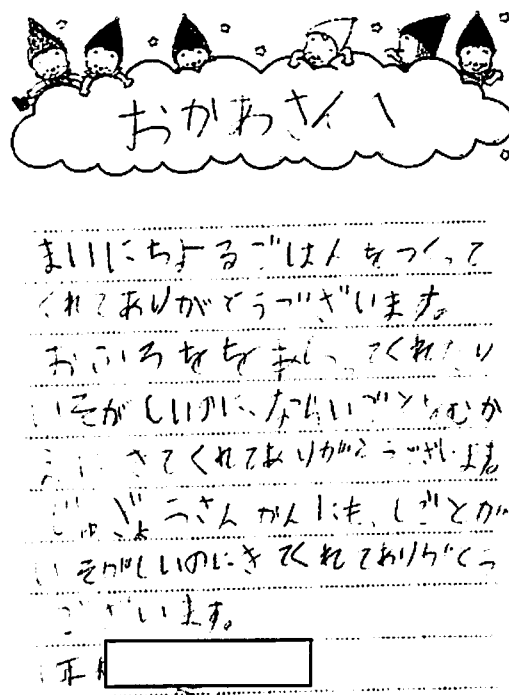
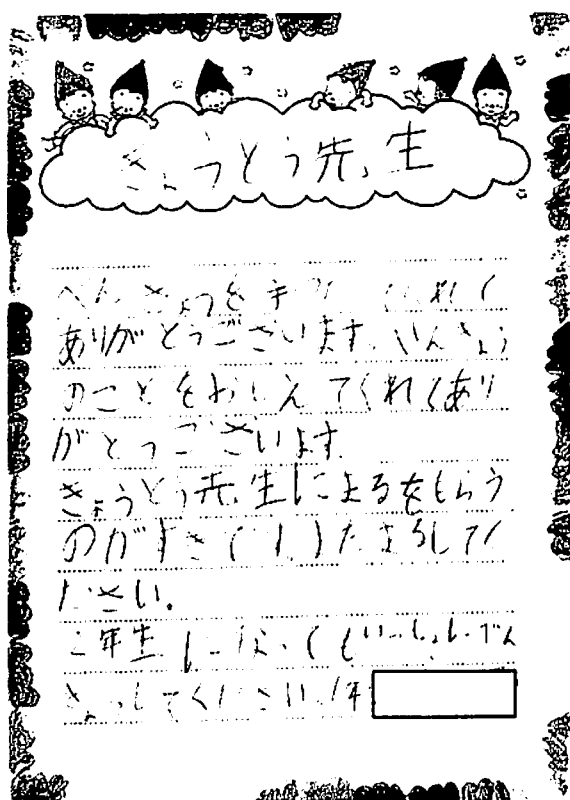


各教科で仲間わけをしていった。仲間わけをしながら、自分や友達が上手にできるようになっていくことに気付くことができた。お互いの成長を確認しあうことができた。

資料4 グループごとにまとめたもの



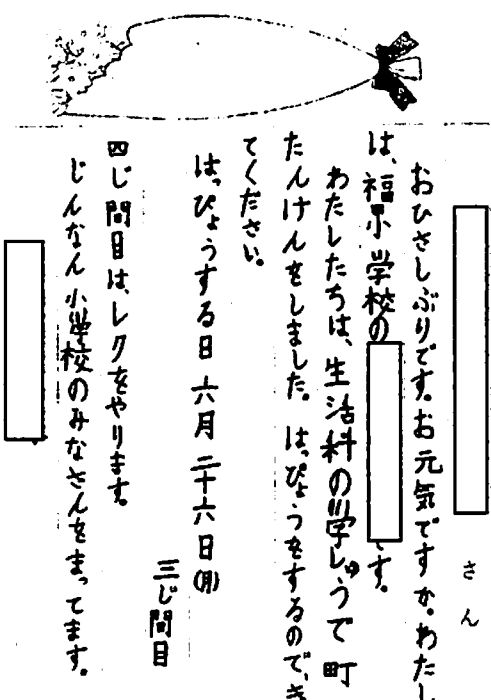
資料5 お世話になった方々へのお礼の手紙



資料6 手紙を書いてつたえよう（国語）

めあて：手紙を書く相手を決め、簡単な構成を考えながら手紙を書く。（平成29年6月1日）

時	主な学習活動	○支援 ◆評価
5	1 書こうとすることを整理する。 ・なぜ交流会をすることになったのか。 ・いつ、どんなことをするのか。 ・呼びかけ（自分の気持ち）	○教科書の手紙を参考に簡単な構成を考えて、書いた短冊を順番に並べる。 ○読む相手にわかりやすく伝えるために、次のことに気をつけるようにする。 ・主語と述語のつながりにねじれはないか。
20	2 下書き用紙に手紙を書き、読み直したり、書き直したりする。 ・敬体で書く。 ・文はわかりやすく、短めに書く。	・文に「、」「。」を正しく打っているか。 ・のぼす音やつまる音など正しく書いているか。

20 ・一字一字丁寧に読み返す。 3 清書する。  おひさしぶりです。お元気ですか。わたしは、福小学校の三じ問目は、レクをやります。みんな小学校のみなさんへまっています。 は、びょうする日 六月二十六日(明) 三じ問目	・「は」「を」「へ」などはまちがえてないか。 ○便箋、罫線がないもの、マス目のものなど児童の実態にあったものを選び、書くようにする。 ○相手に気持ちを伝えるために、丁寧に、相手が読みやすいように書くように指導する。 ◆手紙を書くことを決め、簡単な構成を考えながら書いている。
--	---

資料7 議題 「交流会で行うレクを決めよう」(学級活動)

めあて：神南小学校2年生と仲良くなれるレクを考えよう。(平成29年6月6日)

話し合いの順序	指導上の留意点 ◆児童の様子や発言	評価方法
1 始めの言葉 2 レク(じゃんけん)歌(今月の歌) 3 司会・黒板係の自己紹介 4 議題の確認 5 提案理由やめあての確認 6 決まっていることの確認 7 先生のお話 8 話合い ①交流会で行うレクを話し合う。 ・おにごっこ ・ボウリング	◆歌やレクを行ったことで、表情がよくなり、楽しい雰囲気にする事ができた。 ◆司会の進め方をマニュアル化し、話しやすいようにした。司会になったときに誰でも使えるようにしておくことで、安心して提案理由やめあてを話すことができた。 やる日 6月29日 時 間 11:25~11:45 場 所 体育館 ・「神南小学校の2年生と仲良くなるためのレク」を基準に考えることを確認した。 ◆おにごっこ ◆ボウリング ◆ドッジボール◆王様じゃんけん ◆事前に短冊に書き、貼るだけにしておい	【関心・意欲・態度】 ・友達の見解をしつかり聞いたり、自分の意見に理由をつけたりして発表している。 ： <観察> 【思考・判断・実践】 ・提案理由を踏まえ、考え、発言している。

・ドッジボール ・ドロピー ・クイズ ・王様じゃんけん ②必要な係や準備を出し合う。 ・プログラム係 ・司会 ・名札 ・お手紙 ・案内係 9 決まったことの発表 10 話合いの振り返り 11 先生のお話 12 終わりの言葉	たため、黒板係がスムーズに活動することができた。 ◆必要な係や準備を出し合った。中には学級会ノートに書いていなくても理由をつけて発表できた児童もいた。 ◆よかった点や課題について自己評価した。友達のよかった意見やがんばっていた司会や黒板係にも拍手をした。	【知識・理解】 ・話合いの進め方や約束を理解している。 <観察>
--	--	--

話し合いで、交流会のレクで行うものは以下の2つに決定した。

①王様じゃんけん ②福田小学校、神南小学校混合チームのドッジボール

また必要な係も話し合い、以下のものを役割分担し、準備をすることにした。

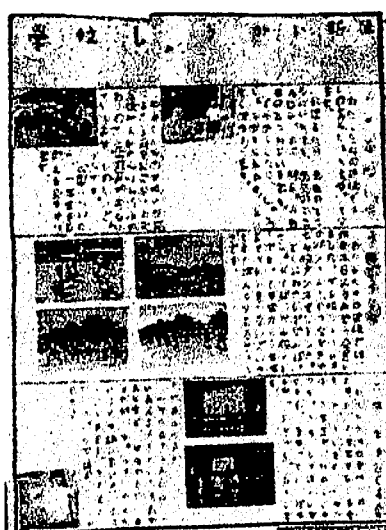
①プログラム ②名札 ③案内係 ④王様じゃんけん、ドッジボールのルール説明

資料8 児童が作った新聞



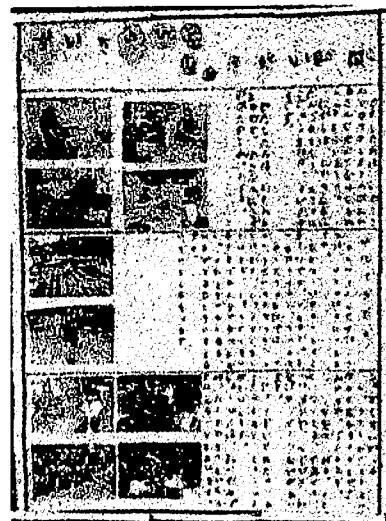
学校のまわり紹介新聞

- ①探検へ行く裏山、学校周辺の様子
- ②天宮神社の神楽
(神楽の様子をDVDで紹介した)
- ③福大神について



学校紹介新聞

- ①詩の暗唱
- ②全校歩行会
- ③運動会
- ④6年生を送る会
- ⑤提案ポスト



地域の方紹介新聞

- ①「団子ならし」の伊能さん
- ②畑の先生の高橋さん、香取さん
- ③地域の方を招待して行う「集会を祝う会」

資料9 児童の振り返り

A児

福田小学校のことをして
もらえてうれしかったです。
じん南小学校のみんなが、びよき
しゃかりのめを見てくれたかつ
れんしょうしてよかったです。

C児

また5年生になったらこの会より
もっとながくながくあそびだ
りしたいです。
またじん南小の1・3・4・5・6年生ともなが
くながくしたいです。

資料10 児童の変容（男子4名、女子6名）

質問①～③までは生活科に関わる質問 ④、⑤は自己有用感に関わる質問。

質 問	平成28. 2月実施		平成29. 6月実施	
①生活科は好きです か。	好き	8人	好き	9人
	どちらかと言えば好き	2人	どちらかと言えば好き	1人
	あまり好きではない	0人	あまり好きではない	0人
	好きではない	0人	好きではない	0人
②どんなときにそう思 いますか。 (複数回答可)	・秋のものでおもちゃを作ったり、 遊んだりするとき。	4人	・発表して「上手」と言われたとき。	6人
	・水遊びやシャボン玉遊びをした とき。	4人	・友だちと何かを作るとき。	2人
	・砂遊びをしたとき。	3人	・町探検へ行くとき。	5人
	・秋、冬探しをするとき	5人		
③生活科の学習でどん なことをやってみた いですか。 (複数回答可)	・収穫した野菜で料理を作りたい。	4人	・神南小の他の学年の友達と交流し たい。(発表も含む)	3人
	・おもちゃ作りをしたい。	4人	・地域の方や家族を招待して、発表 会をしたい。	2人
	・わからない。	3人	・福田地区の違う場所へ町探検に行 きたい。	5人
			・収穫した野菜で料理を作って食べ てもらいたい。	4人
④あなたは自分によい ところがあると思 いますか。	とてもそう思う	5人	とてもそう思う	6人
	そう思う	1人	そう思う	2人
	あまり思わない	2人	あまり思わない	2人
	ぜんぜん思わない	2人	ぜんぜん思わない	0人
⑤あなたは自分が人の 役にたっていると思 いますか。	とてもそう思う	5人	とてもそう思う	7人
	そう思う	4人	そう思う	3人
	あまり思わない	1人	あまり思わない	0人
	ぜんぜん思わない	1人	ぜんぜん思わない	0人

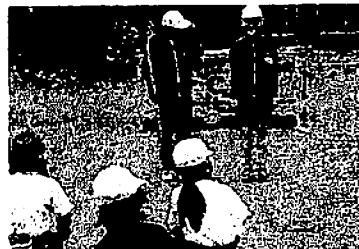
【考 察】

生活科はもともと好きな児童がほとんどであった。質問②「どんなときにそう思いますか。」では、研究前は、水遊びや砂遊びなど自分が活動して楽しいものを挙げる児童が多かった。し

かし、研究後は、人とのかかわったり、交流したりした楽しさや喜びを理由に挙げている児童が増えた。また、質問③「生活科の学習でどんなことをしてみたいですか。」では、研究前は、A児、C児とも「わからない。」と答えていたが、研究後は、次の交流を楽しみにしたり、地域の方や家族を発表会に招待したりしたいと答えていた。人とかかわりやつながりを意識し、大切にしているのだと考えられる。また、「人とかかわる」という視点の中に、「家族」、「友だち（異学年、他校も含める）」、「学校の先生方」の3者以外に「地域の人」も子どもたちの視点の中に入るようになった。地域の方々とのつながりはこれからも大切にしていきたい。

1年生の最後に国語の学習で作文発表会を行う計画を立てた際は、「4年生とのかかわりが少ないから」という理由で、4年生を招待して、作文発表会を行った。「かかわりを大切にしたい」という気持ちが出てきたのだと考えられる。作文発表会を行った後、4年生からも「招待してくれてありがとうの会」を開いてくれ、つながりを深められた。

作文発表に4年生を招待したときの様子



4年生が計画した「ありがとう集会」では、王様ドッジボールと鬼ごっこを行い、双方向の関係ができた。休み時間は、あまり一緒に遊ぶことはなかったが、交流をしたことで、1年生と4年生で誘い合って遊ぶようになった。

新たな地域の方との交流



「花ややさいをそだてよう」の単元で収穫した野菜を使い、「夏野菜ピザ」を作った。足りない野菜を地域の方からいただいた。そのときにみんなでお礼を言ったときの様子。児童から、「地域の方にお礼を言いたい。」という意見が出て、みんなでお礼を言うことができた。

自己有用感に関する質問では、A児、C児に変容が見られた。研究前は、質問④、⑤で「ぜんぜん思わない」「あまり思わない」と答えていたが、研究後は、「そう思う」「とてもそう思う」に変化していた。自己有用感を高めることができた。

今後の交流の予定

- 1 1月に神南小学校へ行く。(生活科の発表)
- 1 2月に神南小学校、福田小学校合同のお楽しみ会を行う。
- 3年生でも継続して交流学習ができるように計画していく。

人とのかかわりを大切にし、生き生きと活動できる児童を育てるための全体構造図

学 年	1 年										
月	4 月	5 月	6 月	7 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
学校行事	入学式 歩行会	芋苗植え	運動会		遠足	芋ほり	収穫祭 音楽会	マラソン大会		新入生体験入学	6 年生を送る会
生活科	私の学校どんどこ 学校探検をし、学校にはたくさんの先生方や学校を支える人々がいることに気付くことができる。 人とのかかわり <u>2 年生・学校の先生方</u>		私の通学路 行き帰りの通学路の様子に関心をもち、安全に気をつけて歩く。また自分たちの安全を守ってくれている施設や人々がいることに気付くことができる。 人とのかかわり <u>地域の方</u>		秋となかよし 公園で遊んだり、秋の素材でおもちゃを作ったりして、友だち同士仲良く活動することができる。 人とのかかわり <u>2・3 年生や地域の保育園児を招待する。</u>		団子ならしを体験しよう 地域のお年寄りや団子ならしをとおして交流し、地域文化を受け継ぎ、参画することができる。 人とのかかわり <u>地域の方</u>		もうすぐ 2 年生 1 年間の成長を確かめる。保育園児との交流をとおり、やさしく接することができるようにする。 人とのかかわり <u>新入生、2 年生同士</u>		
他教科の 関連	学級活動：話し合いの進め方					図工：ホットボンドの使い方			書写：新入生へ手紙を書こう		
						国語：楽しかったことを書こう（書く）			図工：6 年生に感謝を伝えよう		
地域行事	福田っ子夏祭り					本矢作地区天宮神社の神楽			団子ならし		

※太枠は新しく単元として入れたもの

学 年	2 年										
月	4 月	5 月	6 月	7 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
学校行事	入学式 歩行会	芋苗植え 神南小学校交流会①	運動会		遠足	芋ほり 音楽会	収穫祭 神南小学校交流会②	マラソン大会		神南小交流会③	新入生体験入学 6年生を送る会
生活科	春の町ではっけん 春の町で発見したこと やインタビューをしたこ とをグループごとにまと め、新聞やペープサート にして、工夫して伝える。 人とのかかわり <u>2年生同士・神南小学校 2年生</u> わたしたちの町発見 自分たちが住むまちを探 検し、様々な場所やもの、人 に出会い、町への親しみと愛 着を深める。また、発見した ことをグループごとに工夫 してまとめる。 人とのかかわり <u>本校の1年生</u> <u>神南小学校には、発表会へ招 待をしていただく。</u> 発見、工夫おもちゃ作り 身の回りのものを使っ て、おもちゃを作る。ま た、作ったおもちゃで友 だちと仲良く遊んだり、 友だちのおもちゃの工夫 されたりしているところ に気付くことができる。 人とのかかわり <u>2年生同士・本校1年生</u> 自分ではっけん 自分の成長を振り返る ために、資料を集めたり、 人に聞いたりしながら自 分の成長を実感したり、支 えてくれた人々の存在に 気付くことができる。 人とのかかわり <u>家族・学校の先生方・地域 の方々</u>										
他教科の 関連	国語：手紙を書こう（書く） 国語：メモをもとに文章を書こう（書く） 図工：ホットボンドの使い方 国語：好きなことを伝えよう（話す・聞く） 学級活動：交流会のレクを決めよう 学級活動：神南小学校の2年生と仲良くなる活動を考えよう										
地域行事	福田っ子夏祭り 本矢作地区天宮神社の神楽 団子ならし 神楽体験、昔の遊び体験										